

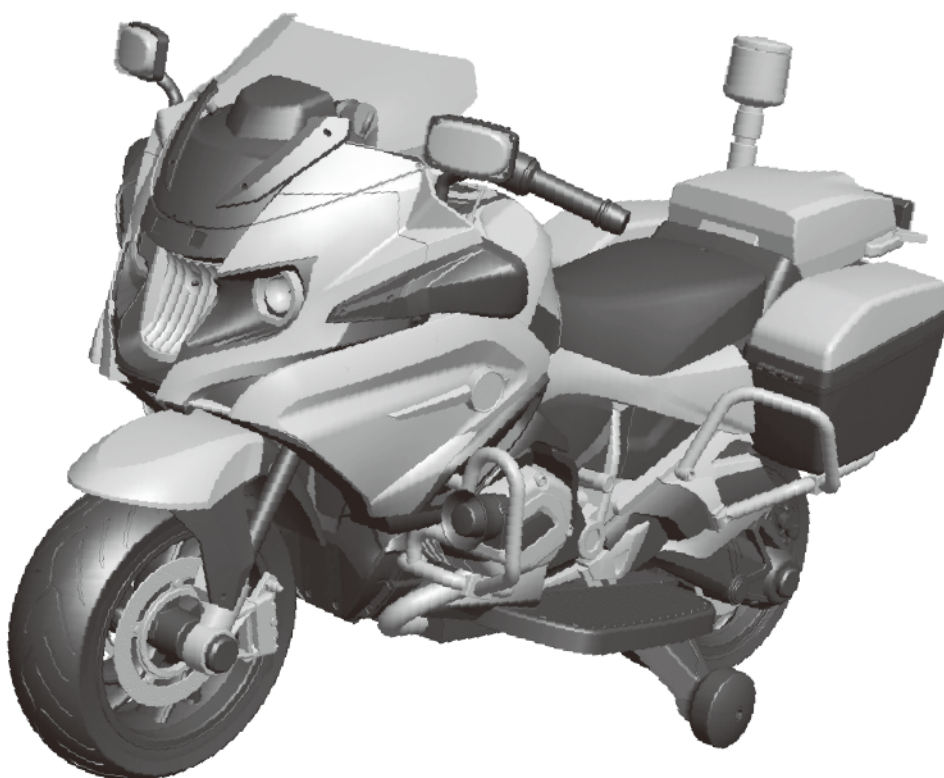
こども用電動乗用 BMWポリスバイク (BMW R 1200 RT-P)

子供用電動乗用玩具 取扱説明書／保証書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、組立方法や操作方法等が書かれていますので、ご使用前によくお読みください。

誤った組立てや操作による破損や事故を防ぐため、この取扱説明書は大切に保管してください。



※走行によりフローリング等の柔らかい材質の床は傷付ける場合がありますのでご注意ください。
本製品を使用により建物や物品等の破損はいかなる場合も保証致しかねますので予めご了承ください。

ご準備いただくもの

- ドライバー(各サイズ)
- 木づち

組立工具、電池は付属しておりません。
お客様でご用意をお願いいたします。

⚠ 注意

- 必ず大人が正しく組立てた後でご使用ください。
- 小さな部品があります。3歳未満のお子様の近くでの組立てやご使用は大変危険です。



⚠ **重要** 組立前・ご使用前は、この取扱説明書をよく読んでください。

⚠ **警告**：この玩具はバッテリーが含まれています。必ず大人の方が取り扱ってください。

- この取扱説明書は正しい組立方法、使い方、メンテナンス方法等本製品の正しい使用方法や安全のための大切な情報を含んでいますので大切に保管してください。
- 損傷、パーツの紛失、お問い合わせはカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- 本製品は安全の為バッテリーの接続端子を外してあります。ご使用前にバッテリーを接続し、充電をしてください。

もくじ

仕様	P1
部品リスト	P2
組立方法	P3~7
操作方法	P8~9
充電方法	P9~10
トラブルシューティング	P11
メンテナンス	P12
バッテリーの廃棄	P12
保証書	

- 一部仕様やデザイン・色が写真や図と異なる場合があります。
- 本製品は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品は、国内企画品ですが、ライセンス品の為、パッケージ内の表記と国内仕様における表記が一部異なる場合があります。予めご了承ください。

仕様

対象年齢	3歳~	充電時間	約9時間(走行時間 約60分)
最大積載量	30kgまで	バッテリー	6V 7Ah
本体サイズ	約(高さ)754×(幅)540×(全長)1234mm	電力供給	充電式 AC100V 50/60Hz
本体重量	約18kg	平均電池寿命 ※使用環境による	約200回(目安)

▲ 注意

お子様の安全のため、この取扱説明書に記載されている組立説明、使用説明、注意事項等すべて読んでから使用してください。この取扱説明書は大切に保管してください。

- 本製品は小さな部品を使用して組立を行いますので組立には必ず大人が行ってください。
お子様が口に入れますと、誤飲や窒息の危険がありますのでお子様の近くで組立をしないでください。
- 保護材やビニール袋から取り出してから組立をしてください。また、袋等はお子様の手に届かないところで管理し、不要な場合はすぐに処分してください。
- この商品は玩具です。その他の用途には絶対に使用しないでください。

※本書で使用している図は、製品の組立方法・操作方法と構成を説明するためのものであり、実際の製品とは多少異なる場合があります。また、外観や仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

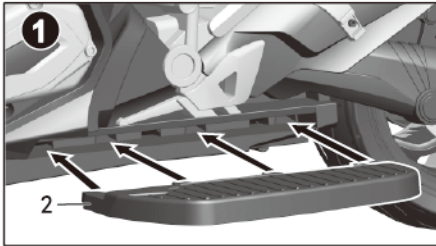
部品リスト

- 組立て前に、下記の部品がすべてあるか確認してください。
また、梱包材・付属品は組立てが完了するまで保管をお願いいたします。

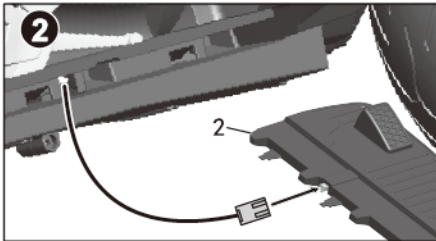
<p>1. 車体 ×1</p> 	<p>8. 前方バンパー (左右 ×1)</p> 	<p>16. ネジ NO.16</p> 
<p>2. 脚置き (左右 ×1)</p> 	<p>9. 後方バンパー(左右 ×1)</p> 	<p>17. ネジ NO.17</p> 
<p>3. 補助輪 ×1</p> 	<p>10. テールプレート ×1</p> 	<p>18. ネジ NO.18</p> 
<p>4. ハンドルバー ×2</p> 	<p>11. バックライト ×1</p> 	<p>19. ネジ NO.19</p> 
<p>5. ハンドルグリップ ×2</p> 	<p>12. テールライト ホルダー ×1</p> 	<p>20. ネジ NO.20</p> 
<p>6. フェイスガード ×1</p> 	<p>13. 後方警告ライト(左右 ×1)</p> 	<p>21. 充電器 ×1</p> 
<p>7. 前方警告ライト (左右 ×1)</p> 	<p>14. ツールボックス (左右 ×1)</p> 	<p>22. キー ×2</p> 
	<p>15. ネジ NO.15</p> 	

▲ 注意

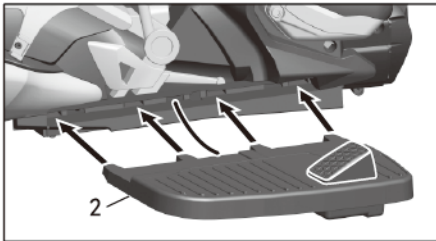
- 組立ては大人が行ってください。組立て前の製品は小さな部品や鋭い部品でけがのないよう組立てには十分気を付けてください。お子様に組立てを手伝ってもらったり、お子様の近くで組立てをしないでください。
- 組立ては、この取扱説明書に記載されている手順通りに行ってください。
- 組立て後、全てのネジをきつく締めてください。



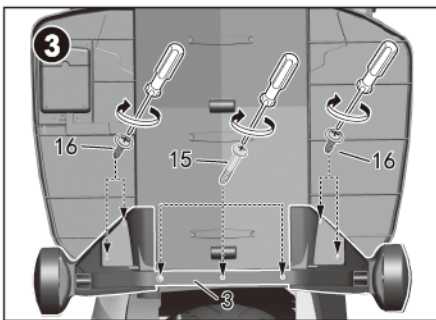
① 車体の左側の下部に足置き(左)を差込み、取付けます。



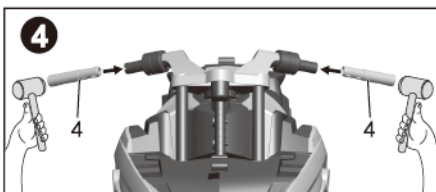
② 車体の右側の下部から出ているプラグを、右側用の足置き(フットペダル有)のコネクタに差込みます。



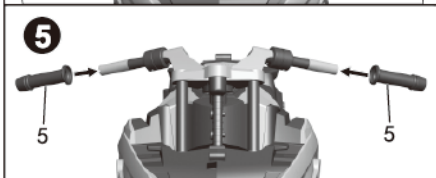
コードを挟み込まないようにして、足置きを車体に差込み、取付けます。



③ 車体の底に補助輪を取付けます。
図を参考にして、ネジでしっかりと締め付けます。

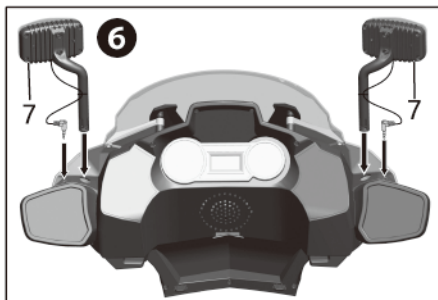


④ 車体のハンドルバー取付け箇所に木づちなどを使ってハンドルバーを叩いてしっかりと差込みます。

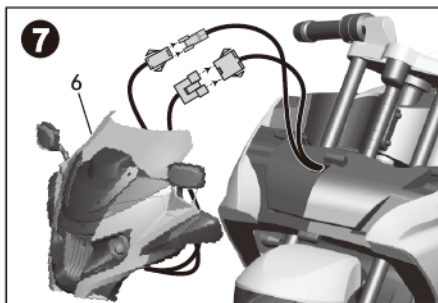


⑤ 取付けたハンドルバーの先にハンドルグリップを差込み、取付けます。

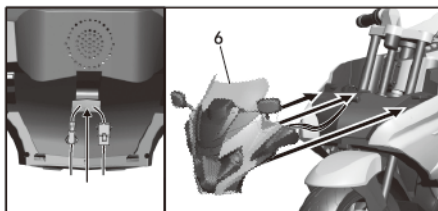
組立方法



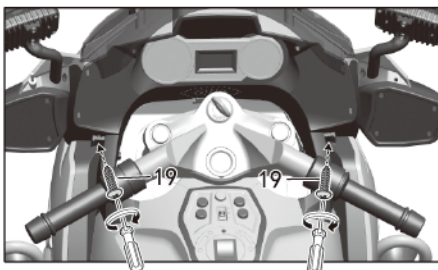
- ⑥フェイスガードの左右に前方警告ライトを差込み、取付けます。
その際に、警告ライトから出ているプラグをフェイスガードのプラグ差込穴に差込みます。



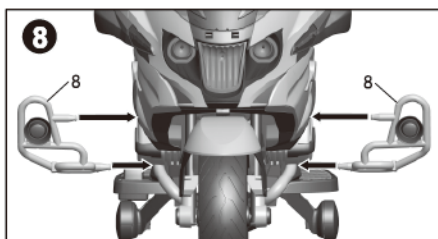
- ⑦フェイスガードから出ているコネクタと、車体から出ているコネクタを接続します。



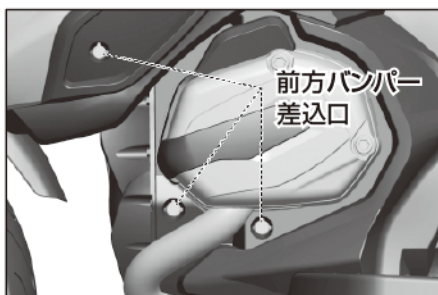
コネクタのコードを挟まないように車体にフェイスガードを取付けます。



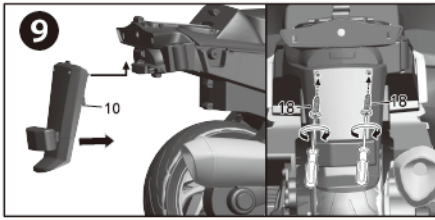
フェイスガードの左右にネジを締め付けて固定します。



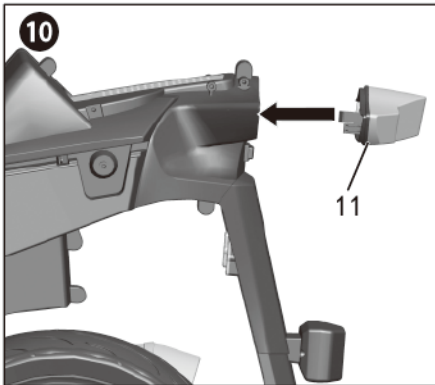
- ⑧前方バンパー差込口に左右の前方バンパーを差し込みます。
※一度差し込むと、取り外しは出来ません。



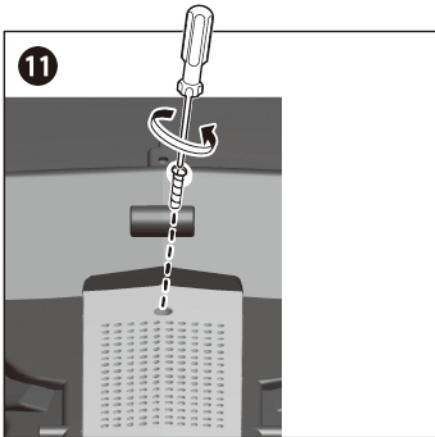
組立方法



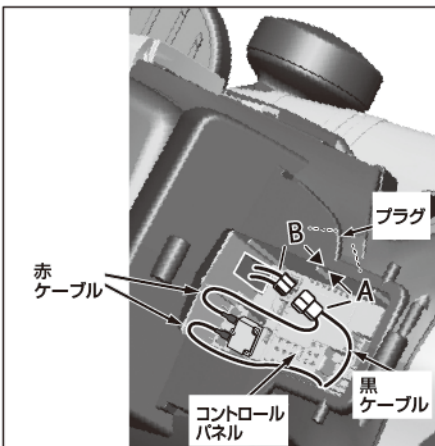
⑨ テールプレートを手体後部(図の位置)にはめ込み、ネジでしっかりと固定します。



⑩ テールプレートにバックライトを差込み、取付けます。



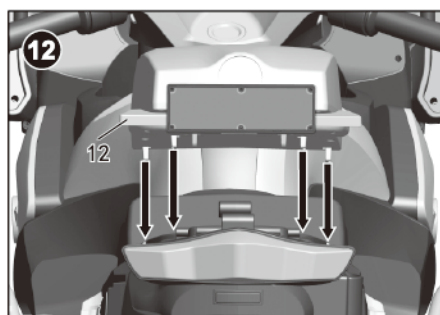
⑪ 車体後部(シートうしろ)のコントロールパネルのフタをネジを回して開きます。



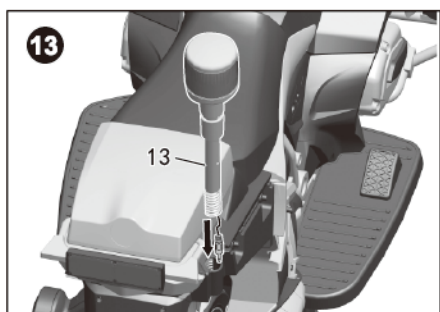
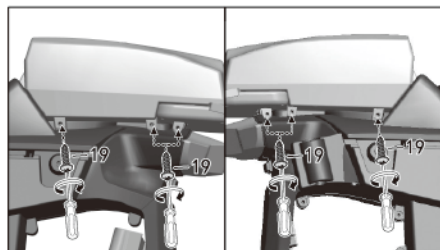
コントロールパネルのコネクタ(図のAとB)を接続します。接続したら、コントロールパネルのフタを元に戻して、ネジでしっかりと固定します。



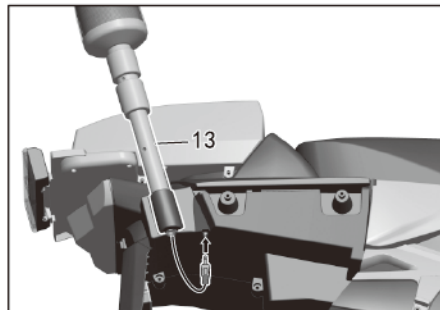
組立方法



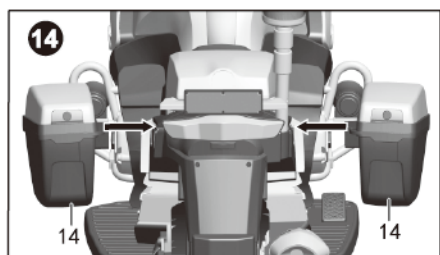
- ⑫ テールライトホルダーを座席シートの後部に取付け、左右から取付けネジで固定します。



- ⑬ 車体後部右側の図の位置に後方警告ライトを回しながら差込み、取付けます。
※断線にご注意ください。



警告ライトから出ているプラグを車体の図の位置に差込みます。
※取外す場合は、プラグを外してから後方警告ライトを外してください。



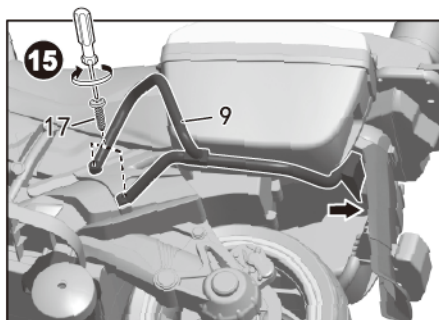
- ⑭ 車体後部左右の図の位置にツールボックスを取付けます。ツールボックスのフタを開けて内側からネジで固定します。
※ツールボックスに入れて作業できる短いドライバーをご使用ください。



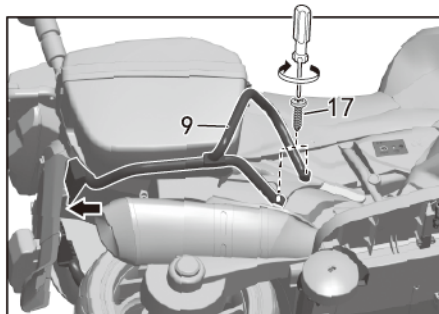
ツールボックス
開閉ボタン



組立方法



⑮車体後部の左右のツールボックスの下の位置に
後方バンパーを取付け、ネジで固定します。



さらにツールボックス内側からネジで固定します。

完成図



▲ 注意

お子様の安全の為、以下をお守りください。

1. 必ず大人の監視の下でお子様に本製品を使用させてください。
2. 一般道路・段差のある場所・水気のある場所では使用しないでください。(屋内で使用してください。)
3. シートにきちんと座って運転してください。
4. 対象年齢:3歳、最大積載量:30kgまでです。3歳未満のお子様は絶対に使用しないでください。

■ご使用前に

- 使用する前に9~10時間充電をしてください。この時に15時間以上充電をしないでください。充電は必ず大人が行ってください。
- お子様が使用する前に車体に異常がないか、バッテリー・充電器・配線などが損傷していないか、使用する前に点検をしてください。また、これらは定期的に点検してください。
- 運転をするときはヘルメット、グローブ、プロテクター等保護用品を着用することをお勧めします。
- 対象年齢、最大積載量を守ってください。

■安全運転のためのルール

本製品を使用、一緒に遊ぶお子様に以下のルール守るよう読み聞かせてください。

- 大人の目の届く場所で運転をしてください。
- 本製品は安全な場所で運転をしてください。
- 車道や車の近く、坂道などの傾斜や段差のある場所、プールなどの水場の近く、濡れた場所では危険ですので絶対に運転しないでください。
- 必ず平らな場所で運転をしてください。
- 本製品を運転する際に建物や物品(床や家具等)を傷つけたり、破損させない様ご注意ください。
- 暗い場所で運転せず、周りがよく見える場所で運転をしてください。
- 車体が完全に止まってから進行方向を変えてください。
- 車体が動いている時はタイヤに触れないでください。
- 立ち乗りなどはせず必ず座席に座ってご使用ください。
- 1人乗り玩具の為、2人以上乗って遊ばないでください。

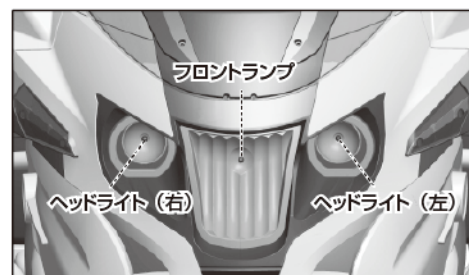
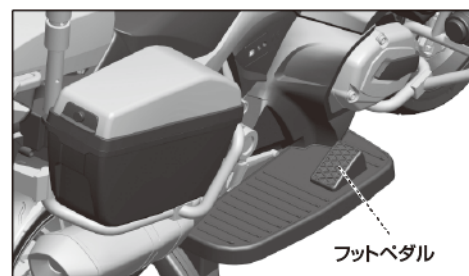
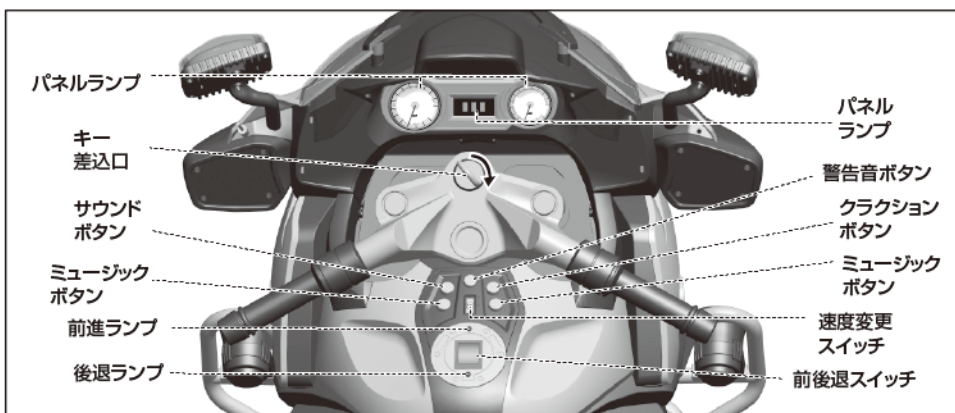
■その他のご注意

- 電気配線を変えたり、付属されていない電気パーツを取り付けたり等の改造はしないでください。
- 火の近くや水気の近く、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 炎天下に放置しないでください。シート、グリップ等が熱くなりやけどの恐れがあるばかりではなく、バッテリーや本体部品に支障をきたす場合があります。
- 保管の際は、バッテリーの接続を外し、バッテリーを抜いて保管してください。
- 製品を正しくご使用しないと部品の紛失や破損に繋がる場合があります。
- 本製品は、防水性能はありませんので、雨等水に濡れた場合は使用を中止してください。

操作方法

▲ 注意

●ブレーキ機能はありません。フットペダルから足を離して停止させてください。



1. キー差込口にキーを差込み、右に回すと、エンジン音が鳴り、パネルランプが点灯します。
2. 警告音ボタンを押すと、前後の警告ライトが点灯します。再度押すと、警告音が鳴ります。
3. サウンドボタンを押すと、走行音が鳴り、ヘッドライトが点滅します。
4. クラクションボタンを押すと、クラクションが鳴り、ヘッドライトが点滅します。
5. 左右のミュージックボタンを押すと音楽が流れます。
6. 前後退スイッチを前に倒すと、緑の前進ランプが点灯し、ペダルを踏むと前進します。また、前後退スイッチを後ろに倒すと、オレンジの後退ライトが点灯し、ペダルと踏むと後退します。
7. 速度変更スイッチは3段階の速度変更が可能です。(前進のみ)
8. ペダルは踏む強さによって速度が調整されます。
9. 待機状態で30分以上操作しない場合、スリープモードになります。スリープモードになった場合は、1度主電源をオフにし、再度電源をオンにしてから使用してください。

充電方法

▲ 注意

■充電は必ず大人が行ってください。

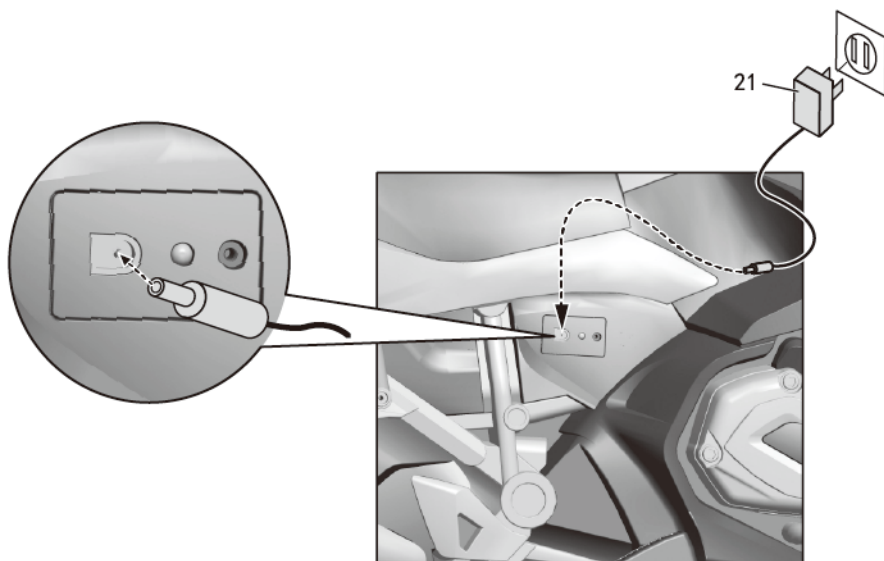
火災や電気ショックを防ぐために:

- 付属のバッテリー、充電器を使用してください。他メーカーのものは火災や爆発の恐れがありますので使用しないでください。
- オーバーヒート、火災、爆発の恐れがありますので付属のバッテリーや充電器は他の製品に使用しないでください。
- 電気ショック、火災、爆発、本体の故障の原因となりますので電気回線システムを絶対に改造しないでください。
- バッテリー端子同士を直接接触させないでください。
- バッテリーやバッテリー構成部分に水など液体がつかないようにしてください。
- 火気や可燃性物質の近くで充電をしないでください。充電は乾いた、通気の良い場所で行ってください。
- バッテリーポスト、バッテリー端子等バッテリー構成部分には鉛が含まれておりますので、これらに触れた後は手を洗ってください。

充電方法

1. 充電器のプラグを車体の差込口に差し込みます。
2. 充電器のアダプターをコンセントに差し込むと充電が開始されます。

※必ず室内で充電を行ってください。



本製品を初めて使用する前に
9～10時間充電をしてから使用
してください。その際に15時間
以上充電をしないでください。

- 充電器プラグ差込口は図の位置にあります。
- 本製品を初めて使用する前に9～10時間充電をしてから使用してください。その際に15時間以上充電をしないでください。
- 充電が始まると充電器プラグ差込口横のランプが点灯します。
- 本体の走りが遅くなったら充電をしてください。
- ご使用毎、または最低1カ月に1度は9～10時間充電をしてください。その際に15時間以上充電をしないでください。

▲ 注意

- バッテリーには鉛蓄電池等有害な物質が含まれておりますのでバッテリーは開けないでください。
- 充電器内部のワイヤーや電気回路がむき出しになると電気ショックを起こす危険がありますので充電器は開けないでください。充電器の取り扱いは大人がしてください。子供には絶対に充電器を触らせないでください。
- バッテリーを落とさないでください。バッテリーの損傷やけがの危険性があります。
- バッテリーの充電をする前にバッテリー、充電器、コード、コネクタ等に損傷や異常がないか確認し、損傷や異常があった場合は充電をしないでください。
- ご使用毎、または最低1カ月に1度は充電をし、バッテリー残量がなくならないようにしてください。
- 充電を長期間しない状態が続くと、バッテリーの寿命が短くなる・充電が出来なくなる場合があります。また、長時間ご使用しない場合はバッテリー配線を外してください。
- 逆さまにバッテリーを充電しないでください。
- バッテリーは常に固定しておいてください。車体が転倒しバッテリーが落ちるとお子様にけがを負わせる危険性があります。

トラブルシューティング

■車体が動かない

●考えられる原因1:充電が足りない

十分に充電がされていない可能性があります。ご使用毎、または最低1カ月に1度は9～10時間充電をしてください。その際に15時間以上充電をしないでください。

●考えられる原因2:バッテリーの接続が緩い

バッテリーの接続がしっかりと差し込まれていることをご確認ください。

●考えられる原因3:バッテリーが消耗している

バッテリーが古い、または故障している場合は交換をしてください。
(販売店かカスタマーセンターまでお問い合わせください。)

●考えられる原因4:モーターが損傷している

モーターは専門の修理が必要です。
(販売店かカスタマーセンターまでお問い合わせください。)

■充電できない

●考えられる原因1:バッテリーの接続が緩い

バッテリーの接続がしっかりと差し込まれていることをご確認ください。

●考えられる原因2:充電器が差し込まれていない

充電器がコンセントとプラグにしっかりと差し込まれていることをご確認ください。

●考えられる原因3:充電器が壊れている

通常は充電中に充電器が温かくなります。充電器が温かくなっていない場合は故障が考えられますので交換してください。(販売店かカスタマーセンターまでお問い合わせください。)

■車体がすぐに止まる

●考えられる原因1:充電が足りない

十分に充電がされていない可能性があります。ご使用毎、または最低1カ月に1度は9～10時間充電をしてください。その際に15時間以上充電をしないでください。

●考えられる原因2:バッテリーが古い

ご使用頻度やご使用条件により異なりますが、バッテリーの寿命は充電回数約200回(目安)です。
バッテリーが古くなったら交換をしてください。(販売店かカスタマーセンターまでお問い合わせください。)

メンテナンス

- メインパーツを点検してからご使用ください。バッテリー、充電器、ケーブル、コード、プラグ等に損傷や異常がないか、ネジはきちんと締まっているか等定期的に点検をしてください。損傷や異常がある場合は使用しないでください。
- プラスチックパーツにひび割れや損傷がないか確認してください。
- 車体は必ず屋内に保管してください。また、高温多湿の場所は避けて保管してください。
- プラスチックパーツが溶ける恐れがありますのでストーブやヒーター等の火気の近くで保管しないでください。
- ご使用毎、または最低1カ月に1度は9～10時間充電をしてください。その際に15時間以上充電をしないでください。充電をする際は必ず大人が行ってください。
- 石鹸や水で車体を洗わないでください。モーター、電気システム、バッテリーに損傷を与える恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でお手入れをしてください。研磨剤やワックスは使用しないでください。
- 乾いた布で取り除けない汚れは、湿らせた柔らかい布で拭きとってください。ただし、モーター、電気システム、バッテリーやその近くは、湿らせた布で絶対に拭かないでください。感電等の恐れがありますので大変危険です。
- モーターや電気システム、動作パーツに損傷を与える恐れがありますので埃っぽい場所で運転しないでください。
- 使用後はバッテリー接続を外してください。
- タイヤの回転部分を定期的に点検してください。異物による回転の妨げ等がないか、回転が正常に保たれているか確認してください。異物がある場合は取り除いてください。

バッテリー(鉛蓄電池)の廃棄

- 鉛蓄電池は環境に配慮し、マナーを守って廃棄してください。
- 鉛蓄電池は燃やさないでください。液漏れや爆発の恐れがあります。
- 鉛蓄電池は家庭ごみで捨てないでください。家庭ごみと混ぜ焼却、埋め立てをすることは法律で禁止されています。
- 使用済みのバッテリーは地域の廃棄ルールに従って廃棄、またはリサイクルをしてください。詳しくはお近くの廃棄物管理センターにお問い合わせください。

